

連載 1

患者さんにも歯科衛生士にも 快適なシャープニングとは？

★ サイドキックは
本体にセラミックストーンが固定されています。
使用後にはネジをゆるめガイドプレートや
セラミックストーンをはずして滅菌します。

★ デュアルストーンは
青色と白色の2面からできていて、
それぞれの特徴を見分けやすくなっています。



★ 電動式なのにコンパクトサイズ、
しかもコードレスなので、
ユニットのターンテーブル上にも気軽におけます。



★ 処置中でもシャープさを確認しながら、
状況に応じて研磨できます。
オイルや水は不要で飛沫の心配がないので、
ユニット上も清潔に使用できます。



はじめに

一般の方が歯科治療に対して思うイメージは、「痛い」・「(治療期間が)長い」・「(治療費が)高い」などです。歯科医院から定期診査のお知らせをお送りしても、なかなか次のアポイントのお電話をしてくださらないケースが多いのではないのでしょうか？ 今後の歯科医院経営において、患者さんに向けてメンテナンスを含む予防歯科についての重要性をご理解いただくことは、必須となります。患者さんたちが積極的にメンテナンスを受診していただければ、歯科医院の増収のみならず、医療費の削減にもつながります。しかしながらそのためには、患者さんが「快適さ」を実感してくださり、自発的に通ってくださる歯科医院でなければなりません。

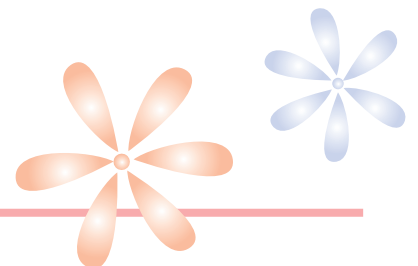
快適なメンテナンスとは？

では、患者さんが快適さを実感していただけるようなメンテナンスとはどんなものなのでしょうか？ つまり「痛い→痛くない」・「長い→長くない」・「高い→納得できる」ということが必要です。この条件を満たすために、歯科衛生士としてできることのひとつに、●シャープニングの見直し●があります。原点に戻ってどのようにシャープニングするのかということを考えると、患者さんにもそして歯科衛生士にも快適であることが重要です。

痛くなく、そして治療時間も短くするためには、歯科衛生士やその大切な道具であるインスツルメントが十分にパフォーマンスを発揮する必要があります。

歯科衛生士の強い味方

これまでのシャープニングでは、インスツルメントのダメージ状態に合わせて、ストーンや潤滑剤(オイル・水または不要)を選択しなければなりません。しかし、これからはその必要はありません。新人さんからベテランさんの歯科衛生士まで、電動式の●サイドキック●や●デュアルストーン●という、2つの強い味方がバックアップしてくれ、患者さんも歯科衛生士も快適にメンテナンスに取り組むことが可能になりました。

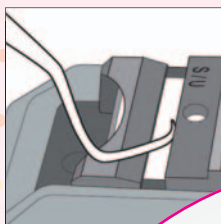
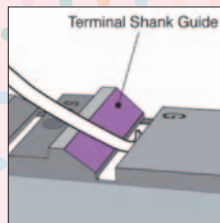
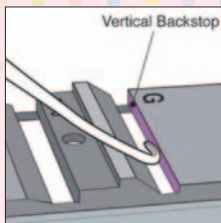
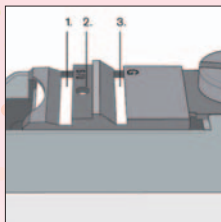


その1
サイドキック

最初は、器械で行うシャープニングです。

仕上がりに個人のバラつきがなく、一本のインストゥルメントを複数の歯科衛生士で共有しても、グレーシーキュレット・シクルスケーラー／ユニバーサルキュレット専用ガイドを用いることにより、正しい角度での研磨が可能で、均一な研磨面がよみがえります。また、チェアサイドの限られたスペースでも使用可能なように、オイルは不要で、コードレス・軽量コンパクトサイズに設計されており、「早く」「使いやすく」「快適に」を追求しています。

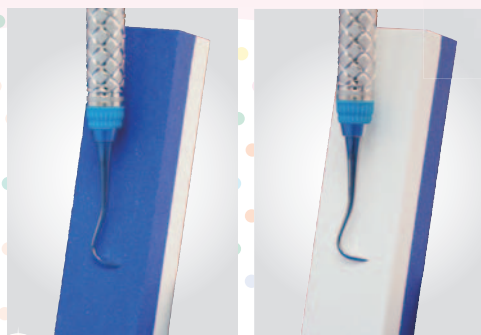
グレーシーキュレット・シクルスケーラー／ユニバーサルキュレットの第一シャングを第一シャングガイドに合わせるだけで、適切な角度で研磨することができます。慣れるまでは、ブレードの背面を垂直バックストップにあてたまま、第一シャングを第一シャングガイドに平行に沿わせませす。その時に、サイドキックを目の高さまで持ち上げ、第一シャングを第一シャングガイドに適合しているかを目視で確認すると、より分かりやすくなります。



目安となるシャングに合わせるだけで、グレーシーキュレットにも、シクルスケーラーやユニバーサルキュレットにも使用できます。

グレーシーキュレットを適切にガイドプレートに合わせることで、簡単に70°の角度を維持できます。

ユニバーサルキュレットやシクルスケーラーにも、専用ガイドを選べば購入時の切れ味が戻ります。



ダメージの状態に合わせて、使用する面を選択します。

その2
デュアルストーン

2番目は、手用のストーンです。

これまではアーカンサスストーン・セラミックストーン・インディアナストーンなどから、インストゥルメントの状態に応じて選択して使用する必要がありましたが、これからは1本のストーンが手元があればOKです。デュアルストーンは、「デュアル(2つの、2通りの、2重の)」という言葉が意味するように、2つの面からできており、青色面はインディアナストーンのように形態修正や研磨、白色面はセラミックストーンのように研磨や仕上げ用に使用します。ストーン側面中央のライン(ブルーとホワイトとの接合箇所)が、シャープニング時の角度設定の目安になります。

さらに、「快適さ」を追求し、シャープニングの際のオイルは不要になりましたので、処置中に使用してもグローブにオイルが付着することがありません。「安心・安全」のためにオートクレープでの滅菌も可能になっています。また、歯周外科で使うペリオナイフ等のシャープニングにも便利です。



IMSカセットを併用することにより、スケーラーとのセット組ができて、管理が容易になります。

おわりに

歯科衛生士が患者さんに笑顔で接するためには、いつも健康ではつつつとしていなければなりません。ひたむきに、そして快適に予防業務に取り組みませんか？
文責:ヒューフレディ・ジャパン(株) 柏井伸子